

ポーランドの天然ガス事情

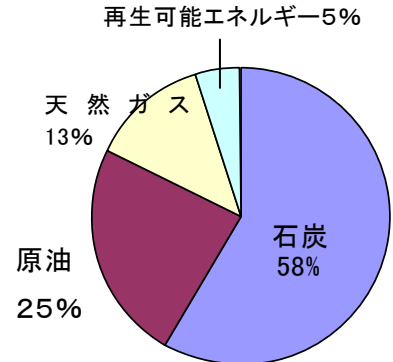
1. エネルギー構成及び輸入依存率

■ エネルギー供給の燃料別構成 (2006年)

2006年	エネルギー構成	輸入依存率
石炭	58%	22%
原油	25%	98%
天然ガス	13%	72%
再生可能エネルギー*1	5%	—
全エネルギー*2	100%	20%

(出所: Eurostat, May 2008)

- *1 再生可能エネルギーには、バイオ燃料、水素、風力、地熱が含まれる。
*2 ポーランドの総エネルギー供給量は9830万toeで、日本の約6分の1。

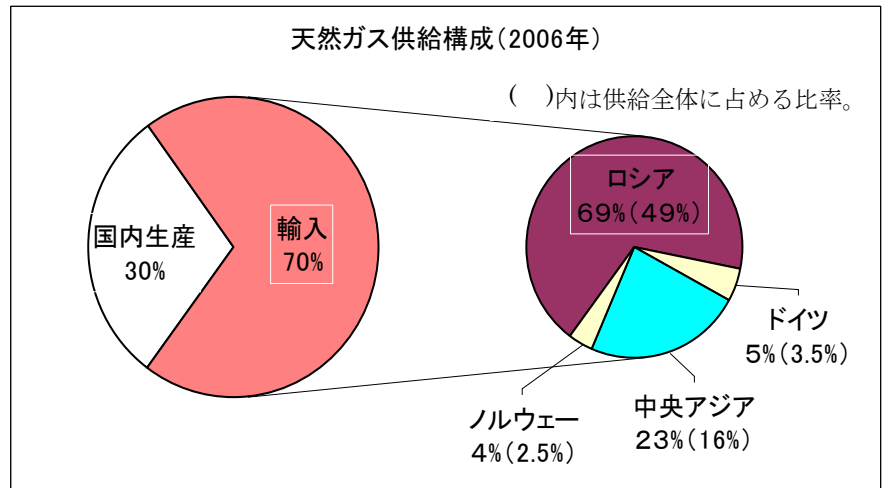


2. 天然ガスの供給構成

2006年	輸入量(mcm)
国内生産	4,277.1
輸入	10,028.4
ロシア	6,839.7
中央アジア	2,346.9
ドイツ	477.5
ノルウェー	360.1

- * 中央アジアは、ウズベキスタン、トルクメニスタン、カザフスタンの3カ国合計。
* ノルウェーからの輸入は2006年で契約切れ。

(出所: PGNiG ホームページ)



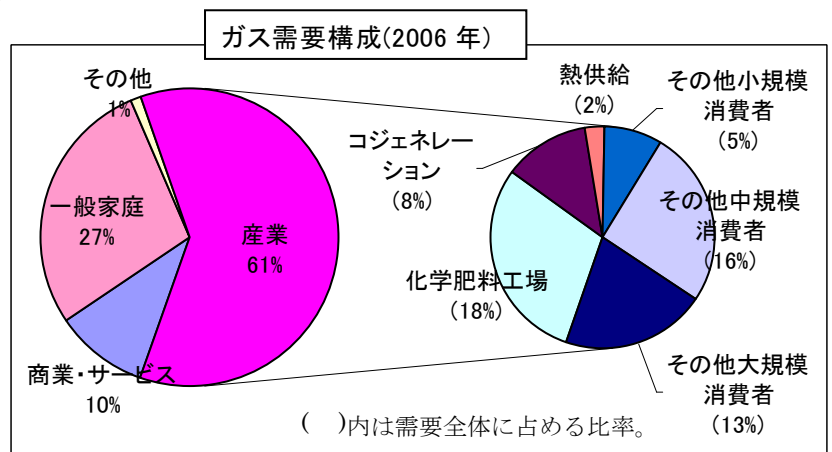
■ ロシアからの輸入

経由地	輸入量(bcm)	備考
ヤマル・パイプライン	2.70	・ロシアとの長期供給契約は1996年9月15日から2022年まで(ヤマル契約)。 ・中央アジア産ガス供給は2006年11月にRosUkrEnergoと契約。2010年1月1日まで。
ベラルーシ	1.87	
ウクライナ	3.90	

(出所: 2009年1月5日付 Gazeta Wyborcza)

3. ガス需要構成

2006年	販売量(mcm)
産業	8,090.2
商業・サービス	1,333.6
一般家庭	3,801.5
その他	126.9
合計	13,352.3



4. 天然ガス備蓄

- ・ 2009年1月現在、国内6箇所に地下備蓄設備があり、備蓄能力は16.6億 m^3 (年間消費の13.5%)で、49日分(PGNiGホームページ)。
- ・ 既存設備3ヶ所を拡張中。新規備蓄設備を3ヶ所建設中。2012年までに備蓄能力を28.1億 m^3 に拡大する予定。

備蓄施設	状 況	備蓄能力(bcm)	目標能力(bcm)	完成年
Wierzchwice	拡張中 高メタンガス用	0.58	1.20	2012年
Husow	高メタンガス用	0.40	0.40	
Mogilno	拡張中 高メタンガス用	0.37	0.44	2012年
Strachocina	拡張中 高メタンガス用	0.15	0.33	2012年
Swarow	高メタンガス用	0.09	0.09	
Brzeznicza	高メタンガス用	0.07	0.07	
Bonikowo	建設中 窒素ガス用		0.20	2009年
Kosakowo	建設中 高メタンガス用		0.05	2012年
Daszewo	建設中 窒素ガス用		0.03	2009年
合 計		1.66	2.81	

■天然ガス備蓄設備の場所(PGNiG)

5. 供給源及び輸送経路方法の多様化

政府は2030年までのエネルギー戦略を策定中。トウスク首相はエネルギー安全保障を政府の最優先課題と位置づけている。ガス供給多様化に関しては、目標として、国内ガス生産30%、ロシアからの輸入40%、その他からの輸入30%とすることとしている。

(1) ノルウェーからの輸入

ノルウェー海大陸棚で生産されるガスをデンマークに輸送(Skanledパイプライン建設)、更にデンマークからポーランドへ輸送(Baltic Pipe建設)するパイプラインを建設する計画。しかし、Skanledへの出資者(10%分)とノルウェーのStatoilHydroとの供給契約がまだ確定していない。

(2) ドイツ、チェコからの輸入

PGNiGと独Verbundnetz Gazは共同でInterGaz(ITG)を設立し、2009年1月末からポ独間のガス・パイプライン建設を開始予定。輸送能力は年15-30億 m^3 。早ければ2011年に完成。チェコとの間でもパイプライン建設計画がある。

(3) LNG基地建設

2013年末までにシフィノウイシチェにLNG基地を建設し、中東等からLNGを輸入する計画。現在、カタール、イラン等中東・北アフリカ諸国とLNG供給契約の交渉中。LNG基地建設に関する特別法を2009年2月末までに閣議決定し、5月上旬から建設開始したい意向。(了)

